令和４年度　卒業式　　令和５年３月２３日

式　辞

草木が一斉に芽吹き、桜の花も咲き始めました。今日、ここに、ご来賓の皆様のご臨席を賜り、卒業式が挙行できますことを、心よりお礼申し上げます。

本校を卒業する１１１名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは、最上級生として素晴らしい活躍を見せてくれました。今年度もまた、新型コロナの影響を受け、多くの制約がありました。しかし、皆さんは明るく前向きに、新たな活動を創り出していきました。動画配信や校内放送、掲示物を活用して巧みに情報を発信し、工夫して取り組んだ委員会活動は素晴らしく、心に潤いを与えてくれました。

廊下に掲示されているメッセージカードの中から、こんな言葉を見つけました。「６年生の皆さんから色々なことを教わりました。中学校でも楽しい学校生活を送ってください。」「６年生の皆さん、下の子のお手本になってくれてありがとうございました。」

みなさんと在校生の心は、しっかりと結び付いています。みなさんの取組や頑張りは、よき伝統として後輩たちへ引き継がれていくことと思います。

さて、四月から中学生へと歩を進めるみなさんへ、一人のアスリートから私が学んだことを伝えます。

この３月に、ＷＢＣ（ワールド・ベースボール・クラシック）が行われました。代表選手の一員となった佐々木朗希選手、千葉ロッテマリーンズに所属している２１歳の若者です。初登板したのは３月１１日、東日本大地震が起こってからちょうど１２年目にあたる日でした。

彼は、岩手県陸前高田市出身です。震災当時は小学校３年生で、父親と祖父母を亡くし、家を失いました。お父さんとキャッチボールを楽しむ日常は突然奪われてしまったのです。長い避難所生活を送った後、４年生の時に大船渡市に移り住みました。転校して入った野球チームの練習場は、整った学校の校庭ではなく、周りに雑草が伸びた河川敷のグランドでした。そんな限られた環境の中、仲間と一緒に練習に励みました。

中学生の時も予期せぬ出来事が起きてしまいました。２年生が終わろうとしている頃、股関節に痛みを感じました。診断結果は腰の疲労骨折でした。その時、彼は「完全に治るまでは投げない」という決断をしました。目標としていた夏の大会に出場することを諦めたのです。悔し涙が流れたそうですが、その時、リハビリに励んだからこそ今があると話しています。

高校は、強豪校からの誘いを断り、地元の大船渡高校へ進学しました。甲子園出場を果たすことはできませんでしたが、そこでの活躍が関係者の目に止まり、ドラフト１位指名を受けてプロ野球選手となりました。

プロ入り後、彼はこのように話しています。「たくさんの人に支えられて野球に打ち込ん

でこられた。プレーでしか恩を返せないので、勇気や希望を届けることができるように頑張りたい。」　彼が恩返しをしたいという人は誰なのでしょうか。

小学生の時、練習は午後４時頃から始まりました。辺りが暗くなると、保護者のみなさんは、ボールにオレンジ色の蛍光塗料を塗り、車のライトでグラウンドを照らし、何とか練習ができるようにしてくれたそうです。わずかな光の中で、彼は仲間と練習に励みました。

けがをした時は、チームのコーチが車で４時間もかかる青森県内の病院へ付き添ってくれ、その後は、お母さんの運転で月２、３回程度、青森へ通い、リハビリに励みました。

彼が困難を乗り越えて今日に至るまでに、多くの人の支えがあったのです。

卒業生のみなさんには、まず、十年先の姿を思い描いてほしいと思います。そして、その実現に向かって挑戦してほしいと思います。しかし、それは容易いものではなく、必ずや高い壁にぶつかることでしょう。その壁は、自分に原因がある場合もあれば、全く予想しなかった出来事が突然襲ってくることもあります。皆さんの誰もが、くじけそうになる場面を幾度となく経験するはずです。

その様な時、誠実に人と接し、一生懸命努力している皆さんの姿があれば、必ずや支えてくれる人が現れることでしょう。中学校での生活は、自分の将来を切り開いていくための学びの場です。周りにいる人たちを大切にし、夢や目標に向かってたくましく成長して欲しいと願っています。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。皆様の深い愛情に包まれて、今日の良き日を迎えることができました。これまで温かく見守ってこられた皆さま方の感慨もひとしおのことと存じます。

お子様たちは、ここ第一小学校を心のふるさととして、それぞれの夢に向かって前進してくれると信じています。人は皆、輝けるものをもっています。それを、輝かせてあげるために、これからも励まし、そして応援し続けていいただきたいと思います。

私たち一小の職員も、これからもずっと卒業生を応援してまいります。卒業生の限りない前途を心より祝し、式辞といたします。

令和五年三月二十三日

館林市立第一小学校長　　上村哲也